

2026年2月1日(日)
日本キリスト教団 久宝教会
第68巻第42号(通算3479号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝:毎日曜10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝:毎日曜10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

ちい 小さくされている人を
たいせつ ひと
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人がみな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

こうたんせつ だい しゅじついはい 降誕節 第6主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)
126編 5-6節

賛美歌 21-195番「まかれた種」
聖書 マルコによる福音書 4章 1-9節

賛美歌『こどもさんびか改訂版』56番「むぎのたねまきます」(©JASRAC)

メッセージ 「実りはどこに 恵みはどこに」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-412番「昔、主イエスの」(©著作権消滅)
聖餐 牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)
主の祈り

献げ物(*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス(21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 126 編 5-6 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

⁵涙と共に種を蒔く人は

喜びの歌と共に刈り入れる。

⁶種の袋を背負い、泣きながら出て行く人も

穂の束を背負い、喜びの歌と共に帰って来る。

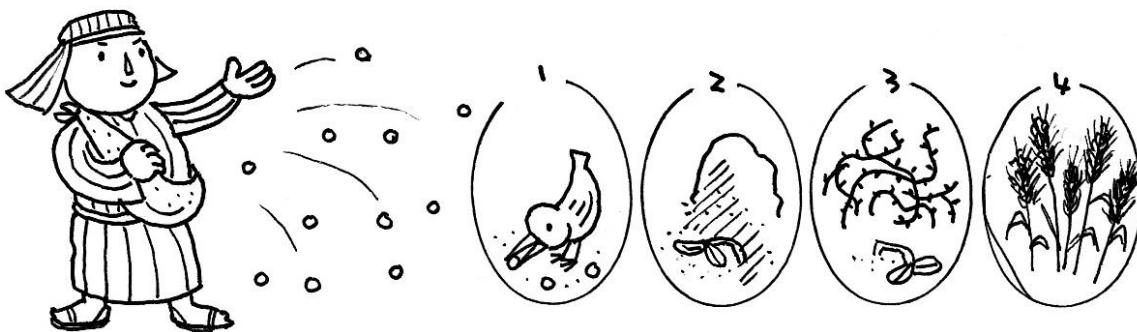
聖書

マルコによる福音書 4章 1-9節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹イエスは、再び^a湖のほとりで教え始められた。すると、おびただしい群衆が御もとに集まって來たので、イエスは舟に乗って腰を下ろし、湖の上におられた。群衆は皆岸辺にいた。²イエスはたとえを用いて多くのことを教えられ、その中で次のように言われた。³「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出て行った。

⁴蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。⁵ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐに芽を出した。⁶しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。⁷ほかの種は茨の中に落ちた。すると、茨が伸びて塞いだので、実を結ばなかった。⁸また、ほかの種は、良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍になった。」⁹そして、「聞く耳のある者は聞きなさい」と言われた。

(脚注 a: 直訳「海」)



《先週のメッセージより》 2026年1月25日 降誕節第5主日礼拝

「言葉・言霊・事ことば」

牛田匡牧師

聖書 申命記 30章 11-20節

「申命記」には、モーセの口を通して、神が古代イスラエルの民に対して語り伝えた数々の律法、教えが記されていますが、最後にそれらをまとめた言葉として、「私が命じるこの戒めは、あなたにとって難しいものではなく、遠いものでもない」(11)と言われています。これは「不可能なものではない=できる」と訳すこともできる言葉です。つまり、神の言葉、神の御心は「自身の心の中にある。良心として一人一人の中に与えられ、備わっている。だからこそ神の言葉に従って生きていくことができる」ということなのでしょう。後半の「あなたは命を選びなさい」(19)も、同様に命の神ご自身が「私があなたと共にいるのだから、命を選び、命への道を歩まないはずがない」と言われているのだと思います。

日本では、「言葉」には「言霊」が宿っているから、「験担ぎ」などをするとかくしらの効果がありそうだ、と考えられていますが、「言葉」を表すヘブライ語「ダーバール」は、「言葉」という意味だけではなく、「出来事そのもの」を表す語もあります。そのためイエス様を始めとする当時の古代イスラエルの人々の言語感覚としては、「神の言葉」とは、耳で聞いたり、文字で書かれていたりするものではなく、むしろ「神が共に働く出来事」(事ことば)そのものだと受け止められていたのだろうと思います。

交通ルールは、年々改正されて、覚えきれなくなっていますが、大切なのはルールを全部知っているということ以上に、安全に配慮して通行するという目的を間違えないことです。信仰においても同様でしょう。聖書にはたくさんの教えが記されており、それこそAIやロボットでなければ覚えきれない分量ですが、本当に大切なものは極々身近にある、私たちの心の中にある簡単なものではないでしょうか。そして、それはイエス様がその身をもって示してくれたように、「私がやったように、あなたたちもやってごらんなさい。きっとできるから」と言ってくださっているように、「隣の人を大切にする」ということ、それただ一つなのだと思います。私たちは今日も命の神と共に、ここから互いの命を生かし合う道を選び、歩み出して参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2026年1月25日

礼拝出席 大人4人 献金 4,000円 中継視聴者数 24回 感謝

◎ 次週 2026年2月8日(日)(信教の自由を守る日) 降誕節第7主日礼拝

招きの詞 詩編 147編 8-12節

聖書 マルコによる福音書 2章1-12節

メッセージ「やってみようと、どうせダメだ」牛田匡牧師

賛美歌 21-487 (©JASRAC)、21-484 口語訳 (©出版局)、21-486 (©JASRAC)

◎ お知らせ

- ・本日の礼拝後に、2月期の「教会を考える会」を行う予定です。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・2月11日(水)15時~17時にかけて天満教会にて、大阪教区主催「信教の自由を守る日2・11集会」が開催されます。講師はマニュエル・ヤンさん(日本女子大学教授)で「天皇と諸王の王と現在の默示」というお話があります。参加費は無料です。ZOOM配信もあります。オンラインで参加希望の場合は、2月9日までにuccj.osaka.2.11@gmail.comにお申込み下さい。
- ・2月14日(土)14時~16時半にかけて、泉佐野教会にて大阪教区教育委員会主催の「CSカフェ」が開催されます。「消しゴムはんこ講習会」(講師:望月麻生さん・西大和教会牧師)や「CSカフェタイム」などがあります。参加費は無料です。お申込みは、下記のチラシのQRコードより、お申込み下さい。締め切りは本日中で、先着25名です。
- ・2月15日(日)14時半~16時にかけて、小阪教会にて「フレイル予防セミナー」が開催されます。テーマは「いつまでも『つまづかない!歩ける!』を叶える健康術」です。予約不要で参加費も無料です。
動きやすい服装と靴とでご参加ください。
- ・2月16日(月)9時半~16時半にかけて、関西学院大学神学部にて「神学セミナー」が開催されます。テーマは「AI時代の教会」です。参加費は1,500円。詳細・お申込みは<https://shingakuseminar60.peatix.com/>をご参照下さい。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
2/8	牛田匡牧師	(信教の自由を守る日)
2/15	牛田匡牧師	おにぎり支援 14時?~河内地区壮年会 (@小阪教会)
2/22	牛田匡牧師	誕生者祝福式
3/1	牛田匡牧師	ユーカリスト・教会を考える会